

## 2000年 四季折々 Mutsu

7. 2000年1月 from M. Nakanishi 2000. 1. 1.

To wish you A Great Year 2000

新世紀へ向かって only one への挑戦  
自ら示す現場主義 今を生きる『匠』へのアプローチ

平成12年 元旦  
本年もよろしくご指導お願い致します

神戸 Mutsu



鉄のふるさと 青森・津軽半島  
【北のまほろば・津軽富士 & 竜飛崎】

### 『マーケットイン と 物作り現場からの創造・今思う事』

自ら示す現場主義 今を生きる『匠』へのアプローチ  
2000年時代 いまだ経験していない新しい時代を迎えようとしています。  
世界の中の日本。地球規模で考えねばならぬ時代の到来です。

グローバル スタンドが持てはやされ、情報とコンピュータ解析シミュレーションが持てはやされた昨年。私にとっても、本当に激動の一年。「リストラ」と「大企業のエゴ」を考え続けた一年でした。何か「物作り」よりも 模擬体験・解析出来る人 現場より管理が持てはやされ、効率と合理化推進の元凶が物作りの現場にあるような錯覚を覚える昨今。現場の荒廃が進んでいる。現場に技術がない。物作りに楽しさ・興味がない。本当にグローバル スタンドとは「現場を知らぬアメリカ MBA ビジネススクール流の情報解析と管理で社会が動く」のだろうか？ 判断は「人」コンピュータ革命による情報の一般化は判断の「手段」。現場に楽しさと興味を植え付けよう。変えよう 変えるのは「人」。actionから 未来を見よう。結果は後からついて来る。

技術屋受難・大変な不況の中、Global の荒波にもまれ、新たな競争の新時代。規模は関係なし。 only one 企業しか生き残れぬ時代を行きぬく新しい知。新たな現場主義が要求されている。画一的な大企業のグローバル主義は通用しない。ONLY ONE・個性への独自アプローチ 必ずしも無人・自動化・コンピュータ主義を意味しない。この中心に物作りの理解と技術・マーケットインを置きたい。グローバルな世界での競争 今技術の信頼性・柔軟性が問われている。未体験な想像できぬ事象の発生。“never say never” 機械・情報・コンピュータでは得られぬ人の力「判断」が only one を育てる。物作りの基本は次の二つ。

- グローバル スタンドの追い求める効率と安定性。  
それを育てる システムと標準化
- 技術革新と質を感知する「人の心と判断」

on job training と呼ばれた技術 knowhow の継承と伝統・風土の醸成物との出会いを大事にしたい。

「物作り」現場と「マーケット イン」に基づく市場マッチングに基づく新しい現場主義の展開こそがグローバル スタート。新しい時代を切り開くエンジン。

今までの成功体験をかなぐり捨てて、新しい現場へ飛び込んでいこう。今しかない。新しい体験。次の時代を信じて引き継ぎたい。

仲間を そして 自分を信じて action を起そう。

そんな気持ちでこの新世紀を迎えたい。

2000年 1月 1日 神戸にて Mutsu

## 8. 2000年 2月 from M. Nakanishi 2000.2.1.

2000年 一番寒い時ですが、暖冬。

休日には、ぼやっと 芝生に寝転んで夕日を見る余裕も出てきました。

暖かい冬の日 手賀沼・印旛沼の岸でゆったりすごした時の写真添付します。

お互い マイペースで その日 その日を前向きにいきたいものです。

まあ なんやかやあった1月でした。



印旛沼の夕日 2000.1.13

「東京での仲間の勉強会」に出て来いと誘ってもらって、30 数年ぶり、学生時代 一緒に山に登った諸先輩や仲間にも会いました。

ずっと話に入って行ける仲間がいるのは心強い限りで、また一つ新しいスタートが出来ました。

一方 山陰米子にいる娘からは 大雪の e-mail 日本は広いです。

仕事の方も 今年一年こんな風かも知れません。

本年も色々なことがあるでしょうが 前向いてがんばろうと思っています。

Harmonized Grobal Standard をめざして

Never Say Never !! また メール下さい

2000年 2月 1日 柏にて Mutsu

### ● 神戸・淡路大震災から5年

1月17日 阪神・淡路大震災から5年。神戸でも色々な集まりがありました。

私が属している日本聖公会神戸でも5周年を迎える記念礼拝が聖ミカエル教会であり、この5年をどう総括し、今後どう行動すべきか多くの人から語られています。

多くのボランティアが活躍し、多くのイベントがありました。また、自然発生的な住民の連帯が生まれ、強い仲間意識が生まれました。

こんな中で、『今何が本物なのか?』を みんなが今 自問自答しています。

『真に必要とされている事はなにか . . . . .

必要とされている人達への救援の手を差しのべる事とともに被災した人・そうでない人も

暮らすこの社会のコンセンサス・意識改革にも役割を . . . . . 』

と聖ミカエル教会の中村司祭はその説教で問いかけられた。



【震災5周年記念礼拝 神戸聖ミカエル教会で 2000.1.17.】

神戸では、震災での必要からとはいえ それぞれが自然発生的に自分の役割を演じ、相互を理解し補う行動と社会が生きつき、新しい社会コンセンサスが生まれていた。

それが 5年を経て、風化し、元の社会に戻ろうとしている。

『何か 違う・・・』とそれぞれが感じています。

### ● 今年は完全結氷せず 袋田の滝



1月22日 完全凍結で有名な茨城県奥久慈袋田の滝へいってきましたが、ちょっと早かった事もあって、氷結せず、部分的に水が流れていました。

滝から尾根筋へ登って 静かな森林浴。遠く那須の山々が望めました。久しぶりに袋田の温泉にも入りご機嫌。

茨城県奥久慈 袋田の滝にて 2000. 1. 22.

### ● 尼崎城

僕の故郷 尼崎で 小さい時に聞いた3櫓と連立して4層の天守閣を持つ美しい「尼崎城」の絵図を千葉県佐倉市の歴史民俗博物館で見つけました。

大阪の押さえとして 石高が小さいにもかかわらず勇壮美しい天守閣があったと聞きました。

実際に姿が描かれた絵図始めてみました



尼崎城の絵図

### ● 単身赴任暮らし - ゆでたまご器で ドカン !! -

朝 『ドカン』という大きな爆発音でビックリして寢床から飛び起きた「ゆでたまご器」にタマゴを入れて電子レンジのスイッチを入れ、また寢床に戻ったところでした。

電子レンジの中でもう タマゴがコッパみじん。 全く形がないコナゴナの大爆発でした。

電子レンジで生タマゴを「チン」すると、大爆発すること 電子レンジの常識。ねぼけてました。

娘が電子レンジで「ゆでたまご」が出来る便利な器具を単身生活の私に送ってくれ、朝本当に重宝していましたがこのザマです。

電子レンジでは タマゴの中から加熱するので 殻で覆われたタマゴは中心で急速に加熱膨張するとその力に殻が耐えきれず ドカンと爆発・・・絶対やったらあかん実験でした。

ゆでたまご器は玉子の形より少しおおきなカプセル空間にタマゴと少し水を入れ、しっかりセットする構造。 タマゴの中からの膨張に対して水が蒸発し、それが外から殻を押し、爆発を守ります。ほんの5分でゆでたまご・半熟たまごを作って便利・便利。

どうも 容器のふたを閉めた時 きっちり固定しなかった報いようです。

あかんと言う事 知っていても ついつい・・・ツボラに操作して 慣れは怖いものです。

便利なもの その代償としてきっちり操作しないとその報いは予想以上。

便利・効率と安全のコンセンサス 考えた事件でした。

ちなみに それから数日後、スーパーへ行くと派手な宣伝文句と共に、私の使っているのと同じゆでたまご器に並んで容器にタマゴと沸騰したお湯を入れて密閉し、約20分置いておくタイプのゆでたまご器が売られていました。

どっちを買うか・・・

「ヤッパリ ぼくは 電子レンジで「チン」のやつかうだろうなあ・・・」

2000. 1. 13. 朝 の 出来事でした

### ● 和鉄の道

「たたら」のページの手をいれようと思いながら ついサボっています。

資料も増えだし、「日本誕生前夜の古代7王国とたたら」をまとめたいと思っています。

いつになるか判らないが・・・

## 9. 2000年3月 from M. Nakanishi

3月になりました。神戸の自宅に帰るとプーンと「いかなごの釘煮」の匂い。

この匂いを嗅ぐと春がきたと思う。

神戸須磨・明石では いかなごが解禁になる3月 待ち兼ねたようにどこの家でもこの佃煮を10kg, 20kg と作って方々に配る。

いかなごの出始めは体長2~3cmほどですが、1ヶ月もすると5cm以上にもなって、佃煮に向かなくなるので、ほんの一時期。

昼網の船が入るのを待ちかねて いかなごを買いもとめて、この釘煮をつくります。

町でも釘煮を売っているが、やっぱり家のが一番。

関西のどの家にもたこ焼き器があるように このあたりの家にはどこもいかなごを煮る道具一式と家々の味がある。 我家も神戸にきてからずっとこの時期家内が作っては方々へくばる。

「毎年 待っている人がいるから・・・」とかいって 家内のこの時期の楽しみのひとつになっている。

梅も満開だし、春 もうまじかです。

色々ありましたが、年度末。景気はまだ回復せず、鉄鋼にとっては厳しい状況が続いています。

考えることは多いのですが、中々突破口を見つけられない毎日です。

世は IT 革命の時代。乗り遅れずに走らないといけないのですが・・・・・・

2000. 3. 4. 柏にて Mutsu

### ● 「柏にて 独りたわごと -柏便り-

友達がこんな笑い話を送ってくれました。 「ビルゲイツ vs GM」

ビル・ゲイツいわく

「もしGMがコンピュータ業界のような絶え間ない技術開発競争にさらされていたら、車は1台 25ドルになっていて、燃費は1ガロン 1000マイルになっていたでしょう。」

GMも負けずに次のようなコメントを出したと。

「もし、GMにマイクロソフトのような技術があれば、我が社の自動車の性能は次のようになるだろう。」

1. ユーザーは、道路のラインが新しく引き直されるたびに、新しい車を買わなくてはならない。
2. 高速道路を走行中、ときどき動かなくなることもあるが、これは当然のことであり、淡々とこれをリスタート（再起動）し、運転を続けることになる。
3. Car 95とかCar NTを買わない限り、車に乗れない。  
ただその場合でも、座席は人数分だけ新たに買う必要がある。
4. マッキントッシュがサンマイクロシステムズと提携すれば、もっと信頼性がある、5倍速くて、2倍運転しやすい自動車になるのだろうが、全道路のたった10数%しか走れないのが問題である。
5. オイル、水温、発電機などの警告灯は「一般保護違反」という警告灯一つだけになる。
6. 座席は、体の大小、足の長短等によって調整できない。
7. エアバッグが動作するときは「本当に動作して良いですか？」という確認がある
8. 運転操作は、ニューモデルが出る毎に、はじめから覚え直す必要がある。  
それ以前の車とは運転操作の共通性がないから。
9. エンジンを止めるときは「スタート」ボタンを押すことになる。

いかがですか・・・・・・

にやっと笑った後に 「う・・・ん 」 とうなってしまいました。

## ● 映画「雨あがる」

家内と二人で黒沢明監督の最後の映画(脚本)「雨あがる」を見ました。

黒沢明監督は何を描きたかったのか? 興味あって行きました。先のジョークとはかけ離れた純日本的感覚の世界です。



久しぶりに明るい気持ちになりました。中年にはお勧めです。

### 『雨あがる』 あらすじ

時は絢爛の元禄を経た質実の享保時代。

武芸の達人だが不器用で仕官がかなわない武士、三沢伊兵衛とその妻たよ夫は、貧しい生活が妻を不幸にしていると思っている。もっと出世してもっと楽な生活を送らせようと齷齪(あくせく)している。妻は、そんな夫を見ているのがつらくて、悲しいのに夫には妻の心がわからない。折からの豪雨が旅の途にある夫婦を宿場町に足止めさせる。

二人が泊まる安宿には雨が上がるのを鬱々と待つ人々が大勢いた。

そんな彼らの心を和ませようと伊兵衛は妻に禁じられている賭試合で金を都合し、酒や食べ物を振る舞う。人々に笑顔が戻った時、雨もようやく上がった。

やっと外に出られた伊兵衛は偶然若侍同士の果たし合いに遭遇してしまい、懸命に彼らを止めるのだった。その一部始終をこの宿場の藩の城主である永井和泉守重明が見ていた…。

城主の召し出しでやっと仕官の道が……。

仕官かなわず。使者の言葉を聞いた妻たよは、晴れ晴れした顔で言葉を返した。

「大事なのは結果ではない。なぜそのようにしたか……です。

私は今後も夫にずっとついて行きます。……」と。

### 黒澤明監督の覚え書きより

「これは、主人公とその妻のドラマである。まず、その二人の関係をじっくりと描かねばならない。

時-享保、戦国時代が終わり、次にその反動として奢侈逸楽(しゃしいつらく)を追う元禄時代になる。そして、それに飽きそれを遠ざけて、質実尚武を尊ぶ享保時代が来る。

これは、その時代の話である。」と。

— アスミック・エース 映画情報より —

好きな言葉が美しい映像と共に一杯ありました。

妻たよ 仕官の道をつけようとした城主にたくした黒沢監督のメッセージ

本当にうれしくなった映画です。 お勧めです。

## ● 休日の合間に

閉じこもらずにいろんなことやって見ようと休日には 外へ出かけています。

2月5日 長年行きたくて行けなかった笠間『日動美術館』に行った。

落ち着いた笠間の街と良く兆羽して 印象派の数々の絵や佐伯祐三の絵や明治以降日本の画壇を飾った数多くの人達の絵が本当に静かに見ることができました。



笠間 日動美術館

上野の多くの人の頭越しにみるのと較べると雲泥の差。美術館の中にある喫茶もその景色が見える 3 階ですっきり描かれた特製のカップで一人ゆったりと。まあ ひとり風来坊できるたのしいひとときでした。

ついでながら 笠間というと民芸運動の笠間焼に笠間稲荷。

東京に近いせいか 笠間焼はどこかモダンになって笠間のオリジナリティが無くなって来ているのではと感じた。

笠間稲荷の門前で食べた「稲荷そば」はうまかった。要は関西でいう「たぬき」であるが、お稲荷さんの前では「たぬき」とは言わない。「稲荷うどん」というのもあった。

2月13日 会社の若い人が結婚。「おめでとう」のパーティーに参加。最近ホテルの結婚式に人気なく若い人達が手作りでパーティと聞いていたがまさにそれ。

「親はほっとかれて・・・」とこの間もきいたが、若い人達の熱気があって、年寄の私も参加させてもらった口なんです、いいパーティでした。

もっとも何かお祝いのお話をしないと考えて行きましたが、それも吹っ飛びましたが・・・

### ● 民博ゼミナール 『夢と眠りについて』

2月19日 吹田 国立民族学博物館の林勲先生から案内をいただき、民博ゼミナール 『夢と眠りについて』を聴講した。

アボリジェニなど未開の人々には不眠はないと。不眠は現代社会の環境とストレスが作り出した産物と人類学者の人達は言う。また、『夢と現実とどちらが真実なのか？』と。

ほんの数百年前までは 夢や占いが真実として語られ 政治に使われた。

南海の未開の地では、今も何日も夜になると眠らずに色々歌に託して語り続け目覚めたとき夢と現実の差は無く 夢うつつで歌った事が真実と・・・・・・・・。

また、その夢を盾に社会のリーダを狙うことがあると・・・・・・・・。

合理性で裏付けられ、不眠の生じる現代社会はたかだか数百年。

『本当にそれが良いのか？ 夢と現実が入れ替わる社会も良いよ』と正面切っていわれると考え込んでしまう。

### ● 和鉄の道 「iron road」

「日本誕生」にかかわった「鉄の道・Iron Road」と古代の鉄の王国。

休みを使って相変わらず 風来坊やっています。

日本各地に残る「鬼伝説」が「鉄の伝来」の道を今に伝えています。

「伯耆・出雲・丹後そして吉備そして日本統一を成し遂げた畿内大和」それぞれに鉄技術を持って栄えた古代の鉄の王国がありました。

私の好きな「津軽」 日本の北の端にも独自の「鉄の道・Iron Road」があったことを知りました。

ちょっとづつ まとめ紹介します。

今 「津軽」・父の故郷「丹後」・娘がいる「伯耆」をまとめています。

休みにやることですから、いつまでかかるやら・・・・・・・・まとめたらメールします。

## 10. 2000年 4月 from M. Nakanishi 2000. 4. 4.

恵奈ちゃん誕生 2000. 3. 18.

3月半ば 米子の娘夫婦に赤ちゃんが誕生。早く見に行つてこようと思つていますが、まだ実現できず。

最も、「おじいちゃん」などと呼ばれる気持ちさらさらなし。今週末行く予定。

「どない呼んでくれ」と言おうかと迷つています。

3月は花粉症に悩まされ続けましたが、もうまもなく桜も咲き出しますし、楽しみな4月です。

新年度が始りましたが、景気回復の良い年になればよいのですが・・・・

3月の半ば 5年ぶりに大学の友達と大阪で同窓会。顔だけみれば 誰か すぐわかりあえる世界。夜おそくまで楽しんできました。

「たたら」と「鬼伝説」色々メール送って資料送ってもらったり、教えてもらったり。

本当に有難うございました。少しずつまとめます。



2000. 4. 4. 柏にて Mutsu

## 11. 2000年 5月 from M. Nakanishi 2000. 5. 7.

『かぼちゃ 5月!!』

4月29日 『かぼちゃ 5月!!』『カボチャ』とは韓国語で「思いもかけず良い事が・・・」といった味。

吹田の民族博物館の朝倉さんが「朝鮮半島の文化」展示のポスターに大きな南瓜(かぼちゃ)を描き「カボチャ 民博!!」とおいでませ 民博へと呼びかけられたのを借用。

4月29日民博の友達の集まり「江口サロン」に行った時に聞いた言葉です。

今年も江口さんから誘ってもい、ほとんど未知の

人ばかりで、江口さんの人脈の広さに驚きつつ、どんな人に会えるか楽しみで毎年出かけています。

今年はサルプリの第一人者 朴鍾蘭さんが舞う韓国伝統的舞踊『サルプリ』鑑賞と「朝鮮半島の文化」展示を見て、その後 小宴。 みんな愉快地飲むのを楽しみで・・・時間無制限。



有名な舞踏家 朴鍾蘭さんが舞う韓国伝統的舞踊『サルプリ』

朴鍾蘭さんが舞う韓国伝統的舞踊『サルプリ』はすごかったです。  
イメージはまさに「天女の舞」。もう息を殺して見ていました。

### ● 久しぶりに美祢の家へ帰って



5月1日 5月1日から2日まで 山口県美祢の家に行き、  
ほっておいた庭の草抜き。久しぶりに美祢の仲間とも飲  
みました。みんな元気出てきて good でした。  
お向いの姉妹 まだ幼稚園と思っていたのですが、黄色の  
安全カバーのかかったランドセルが2つ。もう新一年生  
でした。家内と二人大失敗です。  
たまにしか行けないのに色々声をかけてもらえるのは有  
りがたいことです。

相変わらず世の中は殺伐としていますが、大型連休どのようにすごされましたでしょうか・・・  
3月4月花粉症には本当に悩まされましたが、やっとすっきりしつつあります。  
色々心遣いのメール本当に有難うございました。

### ● 和鉄の道「Iron road」

やっと 丹後のたたらに手をつけました。あと吉備・出雲・北上そして九州。再度 COUNTRY WALK つづ  
け、早く手をつけたいのですが、いつになるやら・・・。

「鉄と鋼」本年4月号に東京工大 永田和弘教授が「鉄の歴史」として「現代によみがえるたたら鉄」  
を発表されています。たたら製鉄法の特徴を整理し、「低温製鉄法」としての意義を解説されている。  
1350℃程度の低温での精錬で、低酸素でかつ Si, S などの不純物の少ない鉄が得られる「たたら製鉄」  
そして錆びにくいことも。

新しい製鉄法としての可能性をひめた研究がはじまったこと興味持って読みました。

「たたら」に興味のある人 御一読勧めます。

各地のたたら資料館も多数本当に良く整備され、インターネットにも多数サイトが出来、産業の米とい  
われた時代から元気のなくなって来たといわれる今。

一方で何か新しい胎動を感じています。

IT 革命が叫ばれ、すべてがそれではなくてはならぬとの錯覚を感じる中、じっくりとした職人の技を見  
なおす胎動。『物作り』はこれでなければ・・・と感じています。

ついでに本の PR 一つ。 岡部陽二兄が監訳して、下記の本を氏出版。

レジナ・ヘルツリンガー 著 岡部 陽二 監訳 竹田 悦子 訳

「医療ビジネス市場の勝者」 -米国の医療サービス変革に学ぶ-

米国では出版以来2年間にわたって時事問題書籍のベストセラーとなり、全米医療経営者育成協  
会から年間最優秀書籍賞を贈られるなど大きな反響を呼んだ。これからの日本の医療改革と企業  
経営を考える上で貴重な指針となるバイブルの邦訳版。

医療ビジネスを新しいビジネスとして検討している方などマーケ ティングの側面から医療ビジネスを  
眺めた本としてご一読を。勝手な話ばかりで、申し訳ありません。また、メールください。

2000. 5. 7. 柏にて Mutsu

## 12. 2000年 8月 from M.Nakanishi 2000. 8. 11.



日本伝統の 江戸の変化朝顔



八幡平の夏



残暑お見舞いもうしあげます。

猛烈な暑さが続いています、いかがでしょうか 御無沙汰しております。  
今年の梅雨は男性的な梅雨で柏では雷だけでなく ピンポン玉のような大きな雹が降りました。  
乱高下のまさに時代を反映した夏です。東北・関東を暇をみつけては COUNTRY WALK。  
仕事の方もまだ回復とは行きませんが、精一杯やっています。  
みんなに助けてもらいながら、元気に関東の夏を楽しんでいます。

お盆休みが始まり、久しぶりに神戸に帰っています。  
娘家族も帰ってきて、久しぶりに家族全部がそろくにぎやかな夏を神戸で過ごしています。2ヶ月休み  
ましたが、今、WALKINGの写真など整理しながらパソコンのKEYたたいています。  
梅雨の合間に出かけた写真や夏の尾瀬 そして「たたらを訪ねた東北の夏」など整理しようとしています。  
休みの間に全部まとまるか 心配ですが、その時はまた、来月です。  
また、メールください。

2000. 8. 11. 神戸にて Mutsu

### ●「ヘッドライト テールライト」 NHK「プロジェクト X より

今バックミュージックに流れているのはNHK「プロジェクト X」のエンディングテーマ曲。  
好きで探していたら、息子が探してきてくれました。  
高度成長期から現在に至る様々な人達の仕事を通じた「生きざま」、「物作り」の原点を自分の時代にだぶ  
らせながら見えています。

多くの成功・勝者とともに、勝者あれば敗者あり。志半ばにして中止、ちりじりになっていったプロジ  
ェクトもあり、そこにも人生あり。  
日本人の心にも通じるのですが、「熱意と信念」を支える「ひたむきさと感性」に感激しながら見ていま  
す。日本人の特徴として、大事にしたいものです。  
別の観点からですが、同じような話を聞きました。そんな話も含め、メールします。

## ● たたら

「たたら」や製鉄遺跡について、岩手県や姫路・神奈川の人達から色々情報等のメールいただき、本当に有難うございました。

Iron Road 東北学を提唱されている東北芸術工大の赤坂教授から「ストーンサークルと縄文人」や縄文の民俗などの話を聞き、「古代たたら」の民との融合など想像し、感激。また、三内丸山縄文遺跡で一緒に過ごした辻先生の歴博講座「日本人の感性が育てた江戸の変化朝顔と日本の植生」の話も日本人の心に通じる話で感激しました。

まだまだ歩かねばならぬところばかりで、思うようには行かず失礼していますが、出かけた時にはお世話になります。

今は東北が面白くて、そっちへ足が向いています。

「真金吹く 吉備の国」 古代吉備の国 鉄の大王国 大和政権成立の歴史を刻む「桃太郎の鬼退治とウラ伝説」などについて、吉備の国 walk 今準備中です。

## ● 岡部陽二兄が監訳 日本に紹介した本 『医療サービス市場の勝者』

この本も物作りの技術屋にとって「21世紀のグローバル スタンダード」を考える良い参考になりました。医療の分野ととっても遠いと考えられる「利便性の追求」。

「IT時代の物作り」の観点からその利便性を考える良い本でした。内容紹介省略しますがお勧めです。

## ● Country Walk 風来坊

### 1. 「弘前ねぶた」&「大湯縄文のストーン サークル

8月3日4日 休みを利用して縄文が色濃く残る「東北」へ。

秋田大湯のストーンサークルを見学。さらに、常々一度行きたかった『たたらの息遣い「弘前ねぶた」』、昨年行けなかった岩木山北山麓 「たたら 鬼伝説の郷」を結ぶ country walk。

色濃く縄文が残る「東北」津軽・八幡平・鹿角大湯に浸って帰りました。

津軽 弘前の「ねぶた」 H12. 8. 3.

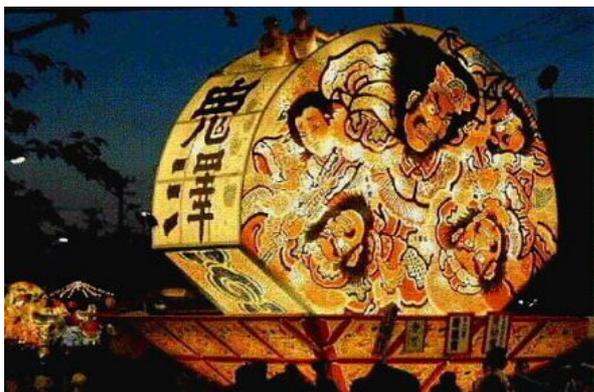
「ねぶた」発祥の弘前では青森の「はねこ」はおらず大きな「じょっぱり太鼓」の強烈な音・リズムに合わせて大人・子供多くの人達が続く。手作りの素朴な味のある「ねぶた」である。



大湯 縄文のストーンサークル H12. 8. 4.

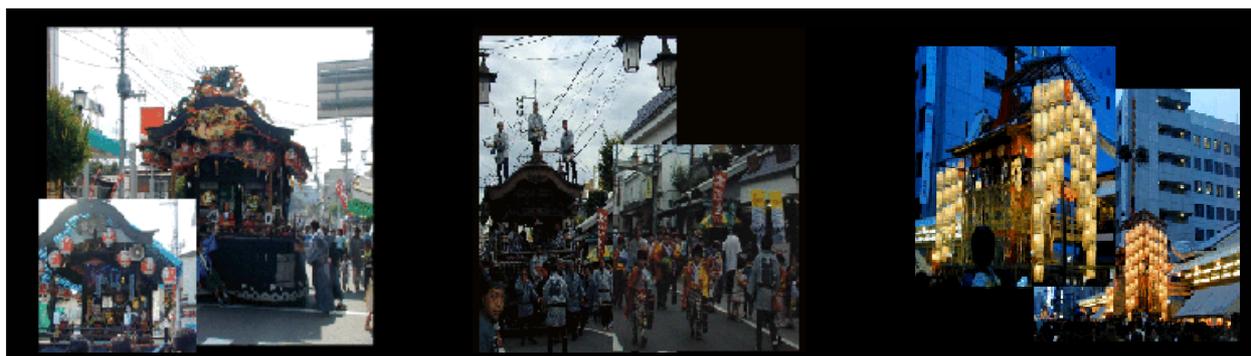
万座・中野堂の2つ並んだストーンサークルの中心が夏至の太陽が沈む方向に一直線に並んでいるという。八幡平と十和田の山々の間の縄文遺跡 夕日が印象的





## 2. 奥会津田島・京都・成田の祇園祭

日本各地の祇園祭 また、今年の夏 京都祇園さん・成田新勝寺の祇園祭・奥会津会津田島町 熊野神社の祇園祭と祇園祭を三つも見ました。奥会津田島の祇園祭は学生時代に泊めていただいた熊野神社の祭礼で、日本三大祇園祭のひとつといわれています。会津に行くたびに気になっていたのですがやっ  
と行 けました。



会津田島の祇園祭

日本三大祇園祭のひとつ

山車の上の舞台上で子供達が演ずる  
歌舞伎が本当に素朴でした。

成田山新勝寺の祇園祭

成田山に祇園祭があるとは知らず

金杖をつきながら子供達が山車を先導  
これにはビックリ 鼓の音も印象的

京都の祇園祭【宵々山】

久しぶりに鉾町を歩きました。

人出の多さには閉口しました。

### ● 「夢の技術展」を見て 東京お台場へ 2000. 7. 23

私の会社では、今 日曜日の安い電力を使うため、土曜・日曜出勤の平日休日。

世の中 IT 革命の脈動が伝えられていますが、まだ遠し。 でも薄明かりさして来ました。

7月23日(日) お台場に「夢の技術展」を見に行きました。本当に時代の転換・技術指向の変化を感じて帰りました。

IT 革命がもたらすソフトの時代。

「ソフトに何が出来る。ハードあつてのソフト」と言って見ても仕方無し。

「鉄・エネルギー産業がもたらしたハードの時代は終わったのか？」 感傷は別にして、新しい先端技術の息吹に戸惑いとそのエネルギーに圧倒されました。

工学・物作りが生み出したハードの時代の落し子「コンピュータ」。それが宇宙・原子力の巨大技術そして分子制御・ロボットを生み、そして情報・IT 革命の時代へ。経済革命から社会革命, 生命・遺伝子操作へ。 神の領域へと踏み込んで行く。人の持つパワー・感性までもが置き換えられようとしている。

もう戻ることはない。

IT革命がもたらすそのパワーを感じながらも、物作りの中で培われた人の感性は先史からつながる人の系譜。感性をなくした集団からは おそらくパワーが消えるだろう。

その時代にあって 誰がそのパワーを受け継ぎ維持してゆくのだろうか・・・・・・・・・・。



【「ゆりかもめ」から眺めた新橋・汐留の都市再開現場 2000. 7. 23.】

「ロボットや新しいマルチメディア 21世紀の夢の生活 遺伝子操作と生命科学」など毒気に当てられて帰るモノレールの窓から、新橋汐留の都市再開の現場が見えました。

今、やっぱり 僕にはこっち・・・・・・・・・・。

ここは、今私の仕事「溶接材料・溶接技術」の主戦場。

新しい街 IT・電腦都市の建設に・・・ここにも夢の技術有り。

前週やったプレゼンが、今に生きる古代のロマンを熱っぽく語る辻さんや赤坂さんの話と重なり、明るくなりました。

一度忘れ去られた物が、必ず生きかえる。雑草のごとく・・・・・・・・

日本人の感性が連綿と受け繋いだ「江戸の伝統の変化朝顔」「古代樹木と今の樹木が共生する日本が育てた感性」

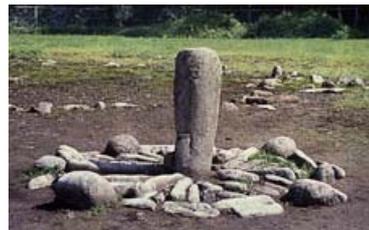
ある先輩が 『仕事の成否=熱意×能力×行動』と教えてくれました。

ITに飲み込まれず・・・・・・・・でも 何かアクティブに変化せねば・・・・・・・・

そんなことをこの夏 考えています。

2000. 7. 23, 柏にて Mutsu

### 13. 2000年 9&10月 from M. Nakanishi 2000. 9. 23.



本当に暑い夏が過ぎ、集中豪雨や雷やらの荒れた夏でしたが、初秋の気配が聞こえてきます。

今年も誘っていただき 9月15日から3日間「青森山内丸山遺跡でのお月見会」参加し、合わせ東北の「ストーンサークル」や世界文化遺産「白神山地のブナ原生林」を廻ってきました。

森の中 独り霧に包まれて、ストーンサークルを眺めながら、縄文・弥生そして 日本の心情に思いを馳せていました。

また、先週「威風堂々」の曲が何度も流れるテレビドラマ「合い言葉は勇気」が終わりました。

ひよんな事から見出して何とはなしに元気づけられ、毎週見ていました。

ドラマの内容は英国映画「プラス」の焼きなおしたいなもので、産業廃棄物で汚される村を救う為に素人ながら飛び込んで行った人達の物語。

沢山の中年のサラリーマンが元気付けられ、見ていたと聞きました。「威風堂々」が流れると乗っちゃって、ついに毎週最終回まで見てしまいました。

今「物作りの危機」「現場の荒廃」が叫ばれ、技術の伝承もままならなくなってきた日本の製造現場。何がそうさせるのか・・・どのように対処すればいいのか・・・

今「現場主義」がさげばれているが、薄っぺらな現場主義はさらに現場を荒廃させる。

解っているけど抜け出せないジレンマ あせりを感じる年になったのだとつくづく感じています。



【青森山内丸山遺跡 お月見コンサート 9.15.夜】



【世界遺産白神山地 「白神山」サンタランドより 9.17.朝】

山内丸山月見の会であるトップ エンジニアに出会いましたが、

『今ロボットは、人と同じように「質」を「暖かさ」を見分けるハードを持つことが出来るようになった。今大事なはそのソフト。いわばロボットの精神構造の研究。

縄文の何気ない遺物から心を読み取る作業はいまロボットエンジニアの仕事と同じ』

と熱っぽく語っていました。

ロボットが暖かさを見別け学習している今、現場にいる我々もそれを『勉強せねば・・・』と思っている。これはITのグローバルであっても日本の伝統であっても同じ。

今 曖昧もこととして行動が起こらない日本。今クリアさが本当はもっとも大事かも知れぬ。

いろんな事情の中で「技術のぬくもり」つまり「技術の質・ノウハウ」を伝える認識が無くなっているのではないのでしょうか

なんとか プロを育てないと今技術の質の解るエンジニアを育てないと思っている。

その基本は『クリエイティブとコンダクト』その出来る技術屋を。それには勉強しないと。

2000.9.17. Mutsu



【夏の千葉県我孫子市 手賀沼】

【手賀沼湖畔にある野鳥博物館で】

市民・街の努力できれいになった手賀沼 2000. 9. 9.

今は美しい湖畔公園と遊歩道に整備されている

イギリスの不況の中の炭坑町のブラスバンドを描いた映画「ブラス」でクライマックスで演奏された「威風堂々」。

エルガー作曲「威風堂々」のこのメロディはイギリスでは第二国歌として親しまれ、国王の戴冠式で歌われるばかりでなく、コンサートの最後、聴衆が全員大合唱の中でコンサートが終ると聞きました。

この「威風堂々」の曲が何度も流れるテレビドラマ「合い言葉は勇気」が先週終わりました。

ひよんな事から見出して、この曲が流れるのとコメディなのですが、何とはなしに元気づけられ、毎週見ていました。

ドラマの内容は英国映画「ブラス」の焼きなおしたいものですが、役所広司 鈴木京香 香取信吾 津川雅彦らのが出て行って 「威風堂々」が流れると乗っちゃって、ついに毎週最後回まで見てしまいました。

最終回が終って インターネット チェックするとあらすじとテレビ評サイトがあり、僕みたいに喜んで見ている人も多くいるのだなあ とまたビックリ。

ミーチャンかとおもっていたらそれも中年で・・・

実はこのドラマの最終回 どんでん返して 裁判が勝利に終わったあとのラストシーン。

村民側についたもうよぼよぼの頼りない本物の弁護士が 相手側の敏腕弁護士に言った言葉に強烈なパンチを受けました。

「その明晰な頭脳と腕を持ちながら、昔とかわらず実に冷たい・・・

実においしい。顧問弁護士で終るのだね・・・」

正確では有りませんが、そんな意味でした。

### 「合い言葉は勇気」 あらすじ

「舞台となるのは、名産といえば「ピーチとダルマ」ぐらいの豊かな美しい自然に囲まれた小さな田舎の村。

ところが、村に出来たゴミ処理場によって村の自然が破壊される危機に陥っていた。

なんとかしなくては…。

村民は立ち上がる。だが、相手側には敏腕弁護士がついていて歯が立たない。

村のために、村民のために、村長は、東京に土地勘のある青年を連れて弁護士探しに上京する。村長は慣れない東京で思い通りに行かない現実に倒れてしまい、やっとのことでみつけた弁護士にも逃げられ、途方にくれる青年の目に一人の男の姿が飛び込んだ。

男はかつて一度だけヒットしたシリーズドラマがあるだけの今は売れない役者だった。そして、その男はひょんなことからその小さな村で弁護士のふりをするようになってしまう。やがては勇気にめざめ、村で村民とともに本当に戦っていき奇跡を起こす大人のコメディ。」

オフィシャルサイト — フジテレビ PR コピーより

[http://a5.fnn-news.com/jp/b\\_hp/aikotoba/](http://a5.fnn-news.com/jp/b_hp/aikotoba/)

今「物作りの危機」「現場の荒廃」が叫ばれています、「実はこの危機・荒廃の原因はこれではか??・・・・・・・・・・」と。

「IT革命が現場を荒廃させる。グローバルスタンダードが日本の物作りの伝統を荒廃させる」と言われて久しい。

何がそうさせるのか・・・どのように対処すればいいのか・・・技術の伝承もままならなくなってきた日本の製造現場。いろんな事情の中で「技術のぬくもり」つまり「技術の質・ノウハウ」を伝える認識が無くなっているのではないのでしょうか

現場にプロがいない。技術屋が現場で孤立しています。

先端技術のほころび 雪印 三菱自工の例など全く歯止めが無くなっているのも根本はここにありそう。学校の荒廃・いじめが叫ばれて久しいが同根ではないのでしょうか

一方 ITの先端を走るアメリカの現場 そんなに冷たくないよ。論理的に合理的に働いてはいるが・・・・実に生き生き働く人達を見てきました。

なんとか プロを育てないと今技術の質の解るエンジニアを育てないと思っている。

その基本は 『クリエイティブ と コンダクト』その出来る技術屋を。それには勉強しないと・・・・

今現場主義がさげばれているが、薄っぺらな現場主義はさらに現場を荒廃させる。解っているけど抜け出せないジレンマ あせりを感じる年になったのだとつくづく感じています。

山内丸山月見の会であるトップ エンジニアに出会いましたが、『今ロボットは、人と同じように「質」を「暖かさ」を見分けるハードを持つことが出来るようになった。今大事なのはそのソフト。いわばロボットの精神構造の研究。

縄文の何気ない遺物から心を読み取る作業は、いまロボット エンジニアも同じ 』と熱っぽく語っていました。

ロボットが暖かさを見分け学習している今、現場にいる我々もそれを『勉強せねば・・・』と思っている。これは ITのグローバルであっても日本の伝統であっても同じ。

今 曖昧もこととして行動が起こらない日本。 今クリアさが本当はもっとも大事かも知れぬ。

上記テレビ楽しんでる自分も奥底でそれをだぶらせているのでは????と思った次第。

## 14. 2000年11月 from M. Nakanishi 2000. 11. 1.



中国 錦州へ 中国 山海関 2000. 10. 15.



ジンバブエ コミュニティ劇団公演 2000. 10. 9.

夏が「あつい あつい」と言っている間にはや11月. 景気は未だ回復せず, 悪いなりに私のところもなんとか持ちこたえています.

先輩やかつての仲間から色々便りをもらい、皆さんの多方面の活躍に多少あせりを感じつつ、今を大事にと心がけてす。

10. 6. に鳥取県西部大地震があり、米子にいる娘家族から電話連絡在った時にはほっとしました。色々ご心配のメールやお電話いただき有難うございました。

チョット 東北・縄文につかれて「たたら」の WALKING がおろそかになっていますが、まあ ゆっくりやります。

名古屋で開催された秋季鉄鋼協会でも「たたら」のフォーラムがあり、多くの人が集まったと聞きました。学協会の「たたら」への関心も本当に高まってきたこと感じています。

資料もいただき興味深く読みました。

特にC14による年代測定の方法もクリアになりました。

島根県の「鉄のミュージアム」吉田村の集まりも年々盛んになっているようで、もう一度訪ねないと思っています。

まあ いろいろありますが、前向いてがんばらねば.....

ついでながら 米子の娘の赤ちゃん ほんと かわいいですよ

7ヶ月たってやっとすわれるようになって愛嬌をふりまっています。

また 元気なメールください

柏にて 2000. 11. 1. Mutsu

### ● 中国北京から遼寧省錦州へ



中国 山海関と北京市街

10月15日から数日仕事で中国北京から遼寧省錦州へ行ってきました。

約1.5年ほど全く海外とは縁切りになっていましたが、久しぶりに海外に出て、中国・中国華僑人と接し、その仕事振りにふれ、ほっとするというか 非常に気分的に楽になって帰ってきました。

今 中国では建築ラッシュというか 溶接材料も作っても作っても足りず、増設を重ねている上昇気流の会社に行ってきました。

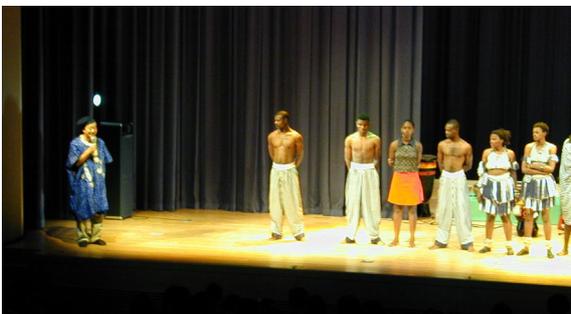
中国の地方都市と多少は僕らの方が・・・と書いていましたが、北京から高速道路が通じ、会社もコンピュータ管理されたうらやましい工場。もっとも品質はこれからですが、すぐ日本に追い付くでしょう。中国のスケールと人の多さにもビックリしましたが、中国も他のアジア諸国と同じく IT の先端を行くインフラ整備が着々となされていると感じてきました。

毎晩42度のアルコールの乾杯づけになったのには閉口しましたが、また 一つ別の世界を見ることが出来ました。また、錦州は化石の宝庫。

みやげに一つ買いましたが、化石の街・美祢も考えては・・・

中国はやっぱり休暇とってゆっくり歩きたいと思っています。

### ● 江口サロンとジンバブエ コミュニティ劇団



江口サロンとジンバブエ コミュニティ劇団



いつもエネルギーをもらう吹田民族博物館の江口さん

「サロン」が10.9.午後 民博で「ジンバブエコミュニティ劇団」の公演を鑑賞とあわせてありました。

コミュニティ劇団とは多くの人達に自分達の独自文化を劇と踊りで啓蒙活動しているグループ。

良く理解できないところも多いのですが、アフリカの事情が色々わかって面白かったです。

また同時に奴隷の身からアリゾナ州立大学の先生になっておられる女性のアメリカ入国のイミグレーションカウンターにおける黒人差別再現の一人芝居があったのですが、凄い迫力でした。

● 【IRON ROAD】

秋田・青森の縄文のストーンサークル本当に面白かったです。  
まるで一人タイムスリップして宇宙の儀式でも受ける錯覚を受けました。  
いずれも森に囲まれた台地にあって自然と静かにむきあえるのが良いです。  
やっと全部まとめて紹介します。

【縄文のストーンサークル】



秋田県鷹巣町 伊勢堂岱遺跡



青森市 小牧野遺跡